

学校教育目標

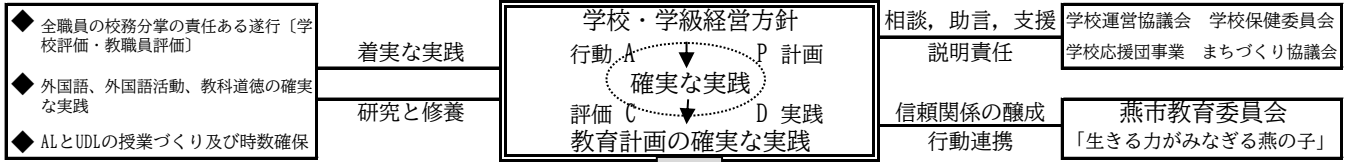
ぐんぐん伸びる若竹の子

<p>当たり前前を当たり前にする学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 命を大切に。 きまりを守る。 いじめはしない、させない、見逃さない。 ことばを大切に。 	<p>信頼を勝ち取る教師がいる学校</p> <ul style="list-style-type: none"> 常に子どもに寄り添い、子どものよさを引き出す教師 子どもの自己肯定感を高める教師 授業力、学級力を高めるために努力する教師 絶対に非違行為をしない教師
---	--

「子どもたち、保護者、地域、そして教職員がつながり、みんなの感動・笑顔あふれる学校」の具現化

令和8年度 分水小学校スローガン

三方よし～自分よし・相手よし・みんなよし～・凡事徹底



本年度の重点 確かな学力と人間関係力を身に付けさせ、自己肯定感・自己有用感を高める
～ 聴き合う・伝え合う・認め合う ～

重点取組 学校評価「三方よし」プロジェクト

学びよし

○国語と算数の単元別テストの平均点が80点を超える児童が80%以上になる。
・「分かる・できる」喜びのある授業の構築
・学習規律の定着
・家庭学習習慣の定着・充実

心よし

○「学校は楽しいですか」の児童が80%以上になる学級が80%以上になる。
・Q-Uや教育相談の結果からの個別支援と対応策の検討・実施
・居心地のよい学級にするための話し合い・実践・振り返り
・「若竹目標（月の生活目標）」の達成に向けた、各クラスの計画・実践・振り返り

体よし

○1日のメディア使用時間が2時間以内を週4日以上を達成できる児童が80%以上になる。
○自分のめあてに向かって運動に取り組んでいる児童が80%以上になる。
・スタディ＆メディア週間に関わる、学級の実態に合わせた事前指導
・指導方法や学習カードの工夫

子どもによる学級・学校づくり 「考えよう！やってみよう！楽しもう！」

- 居心地のよい学級（折り合いをつけて合意形成）
 - 居心地のよい学級にする作戦を考えよう
 - 自分の意見をもつ
 - 仲間の意見を理解しながら聞く
 - 相手の立場に立って共感的に理解する
 - みんなで決めたことを実行しよう
 - 実行したことを振り返ろう
- 笑顔あふれる学校
 - 学校生活がより楽しくなる取組（自治的な児童会活動の活性化）
 - 児童朝会・委員会イベント活動・若竹班活動
 - 学校生活の改善への取組
 - 「若竹目標」達成や学校課題（あいさつ・廊下歩行など）へ向けた作戦を考えよう
 - 考えた作戦を、期間を決めてやってみよう
 - 作戦を振り返ろう

※子どもたちが、自ら考え実践するように支援
※子どもたちが自己肯定感・自己効力感・自己有用感、成就感をもてるように支援し、次の活動への意欲へ

伝統を引き継ぎ 未来をつくる児童を 地域一体で育成する

郷土愛を育む教育

- 地域貢献の意識を醸成する取組
 - 道の駅「くがみ」のPR活動
 - 分水まつりを盛り上げる活動
- キャリア教育の充実
 - 夢や志を実現する教育課題の編成と系統的な取組
 - 地域資源を生かした体験活動
- ふるさと分水に学ぶ総合活動
 - 地域人材を活用し、分水の自然・文化・歴史を学ぶ活動
 - 先人に学び自分の生き方を考える活動
- 季節や潤いを実感できる環境づくり

未来をつくる教育

- 特別な教育ニーズに応じた支援の充実
 - 個別的教育支援計画、指導計画作成と活用、評価、改善及び合理的配慮
- 防災教育の充実
 - 自分の命は自分で守る教育
 - 保護者、地域との行動連携
- 外国語活動の充実
 - 新潟大学との連携
- 道徳教育の充実
 - 互いの違いを認め合うことを基盤とした「考え、議論する授業」

地域とともにある教育

- コミュニティ・スクールの導入
 - 「おらが学校！」と保護者、地域住民が思える学校運営協議会
 - 社会に開かれた教育課程と説明責任
- 学校応援団事業の充実
 - 地域コーディネーターを核とした応援団員の拡充
 - まちづくり協議会との行動連携
- 学習参観から学習参加へ
 - 保護者、地域住民の積極的支援
- 保育園連携による小1プロブレム解消
- 中学校連携による中1ギャップ解消

子どもが輝く 働き方改革

子どもが望む教師像「元気で率先垂範する教師」 □18時30分退勤 □年休取得13日 □チーム小